

<機械の共同化・非農家との連携をしている事例>

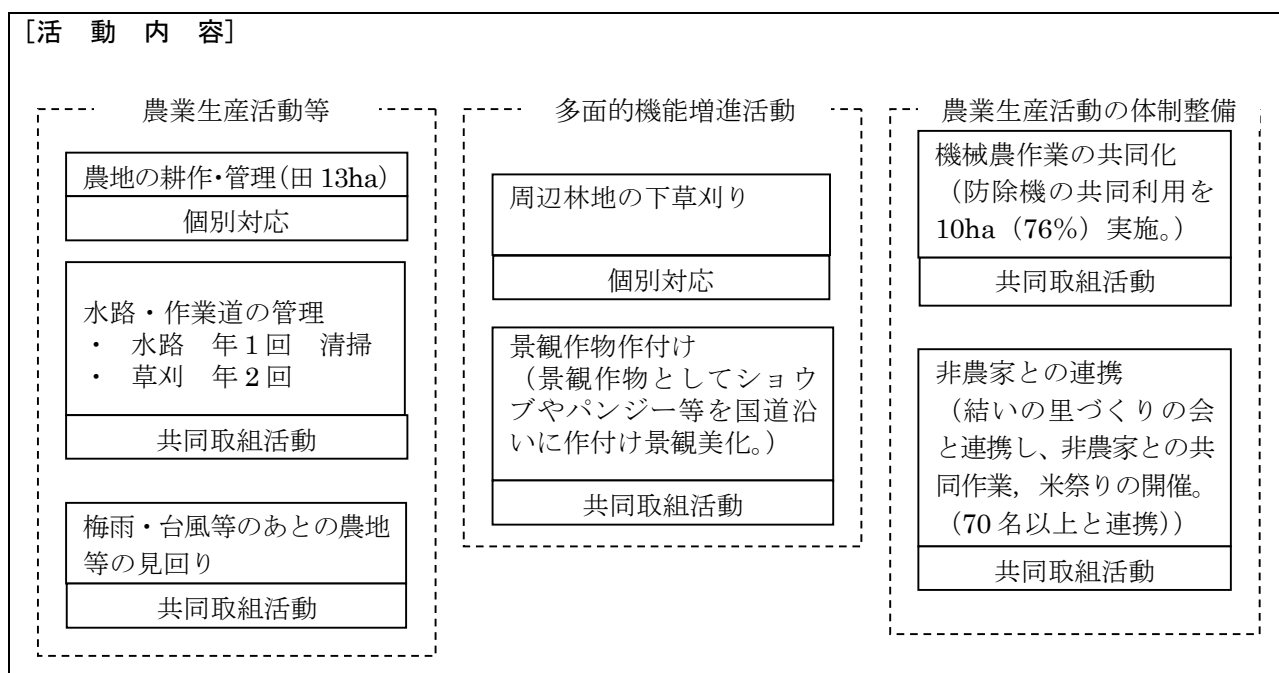
○結いの里づくり

1. 集落協定の概要

| | | | | | |
|----------------|--|----------------|----|-------|-----|
| 市町村・協定名 | <small>やまがたぐんきたひろしまちょう</small> <small>かわこだ</small> 広島県山県郡北広島町・川小田 | | | | |
| 協定面積 13.6ha | 田(100%) | 畑 | 草地 | 採草放牧地 | |
| | 水稲・野菜・花等 | | | | |
| 交付金額 175万円 | 個人配分 | | | 50% | |
| | 共同取組活動 (50%) | 役員会・会議事務費等 | | | 10% |
| | | 共同作業・工事費に係る経費等 | | | 20% |
| | | 共同作業・工事に係る人件費 | | | 10% |
| | | 工事引当金・作業経費等 | | | 10% |
| 協定参加者 | 農業者 29人 | | | | |

2. 集落マスタープランの概要

- ・ 農作業用機械の共同化へ取り組む。他団体「川小田結いの里づくりの会」との協力体制を図り農家以外の方に協力を求める。
- ・ 用水路の補修又は改修を行う。



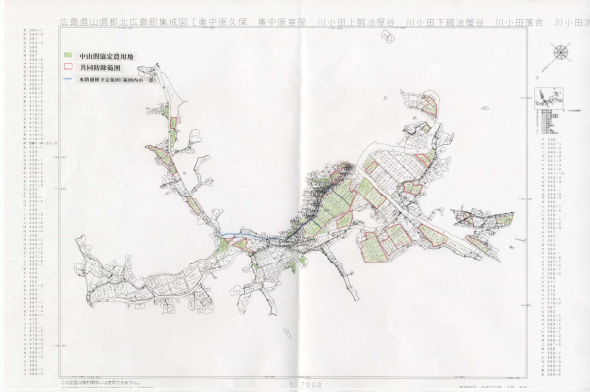
集落外(他団体)との連携

- 川小田結いの里づくりの会とは、川小田地区において芸北地域を活性化させることを目標とし活動を行っている。この会には、集落内の非農家や農業に携わっていない若者も加入している。川小田集落協定は、この会と連携をとり農作業の協力や交流を持つ事で、農地を守ることはもとより集落内の活性化を図っている。
- 米祭りは農産物のPRの場所でもあるが、集落外の購買者も祭りのサポーターとして協力してもらい、参加者全員が楽しめる祭りとなっている。

3. 取組の経緯及び内容

高齢化による集落内の管理不能地が発生する恐れがあったことから、集落内の農地はみんなで守る体制を整えるため、交付金を活用し噴霧機を導入した。また、地域活動の母体である「川小田結いの里づくりの会」に加入している非農家や農作業に携わっていなかった若者に協力してもらい、共同防除作業を実施している。その結果、集落全体で農地を守る体制が整いはじめた。

その他にも、集落内で生産した農産物等をPRするための「米祭り」を開催している。毎年参加者も増え、集落外の住民等との交流を深めている。今後とも、米祭りの継続開催と、非農家との取組を増やし集落の後継者づくりを目指していく。



【マップの解説】

- ・防除等効率的な作業ができるように図示。
- ・マップの特徴等
共同作業を行う上でみんなの共通認識が図れるように考慮。



共同防除作業の様子



米祭りの様子

[平成 19 年度までの主な効果]

- 共同防除機械の購入による営農の効率化・非農家との連携（当初 4 ha，目標 6 ha，H19 実績 9.8ha）
- 都市住民，非農家との連携・交流による地域の活性化
 - ・ 米祭りの開催。参加者の増（H18：250 名 H19：350 名）
- 結いの里づくりの会との連携
 - ・ 非農家との協力により、防除作業がスムーズに運営できるようになった。